おじゃましまーす

山形久恵さんの ペーパークイリング自宅教室 福井市

山形久恵さん（中央）とこの日の参加者

坂井市丸岡町にある高椋東部コミュニティセンターのふーちゃんギャラリーで、6月に開催されたペーパークイリングの作品展。繊細な美しさと多彩な作品の数々に魅せられて、作者の山形久恵さん（68）が開く自宅教室にお邪魔してみた。

ペーパークイリングは、細長い紙をくるくると巻いて作ったパーツを組み合わせてモチーフを作り、創作を楽しむペーパークラフト。取材に訪れた日は数年来の友人という２人が色とりどりのパーツを組み合わせて作品作りを楽しんでいた。感想を聞くと「いくつになっても、かわいい物には心を動かされる」「外に出て趣味を楽しむのは大切な時間」「（山形さんに）手を加えられると、作品の表情が一気に引き立つ」「家族にも好評でうれしくなる」と、次々に言葉が返ってきた。

作品の数々。立体的なものも多い

細長い紙を巻くだけで作り上げるさまざまなパーツ。うっとりするほど繊細で優美

「動画サイトで偶然目にしたのがきっかけでペーパークイリングを知った」と話す山形さんは、テキストを１冊だけ購入し、動画サイトを参考にしながら独学で技法を身に付けたそうだ。「他の作家の作品は見ない」が信条で、写真フレーム、アレンジメント、オーナメント、しめ飾りなど、自由な発想と感性で創作を楽しんでいる。材料は色とりどりの細長い紙。専門店で購入するのではなく、100均で画用紙やトレーシングペーパーを購入して自ら裁断して使うのが山形さん流。「質感や手触りがさまざまで、作品の繊細な表現が際立つ」と話し「費用も抑えられますよ」と笑顔で教えてくれた。

教室を開いたきっかけは、山形家の菩提寺の善照寺（福井市海老助町）を会場に開催した手芸仲間との作品展で、教えてほしいという声を受けたから。地域の結びつきの中で始まった自宅教室なので、生徒は顔見知りがほとんど。時間は都合に合わせて2時間から4時間程度で、長時間だと弁当を持参したり、自分たちで作ったりするアットホームな雰囲気の教室だ。山形さんは、「和紙なども使って作品の幅を広げていきたいし、ペーパークイリングをたくさんの人に知ってほしい」と意欲を見せた。11月3日には善照寺で作品展を開催するそうなので、興味のある人は善照寺へ。

教室風景

MINIE FUKUI 3rd PLACE

第1回

MINIEの気になるお店をご紹介

ローカルフードホールエリア

cafe ieme（カフェ イエミー）

今年3月、北陸新幹線県内延伸に合わせて福井駅前に誕生した街区「FUKUMACHI BLOCK」（フクマチブロック）。その1階にある「福井駅前フードホール MINIE（ミニエ）」は福井の「食」を中心とした複合施設。福井の豊かな食材を生かした飲食店、伝統工芸品を扱う店、北陸地方の質のよい食材が集まるローカルマーケット、市内唯一のブルワリー（クラフトビールの醸造所）などが集まる。開業から半年。「何度も行った！」という人にも「まだまだこれから！」という人にも、さんぽみち編集部が気になったお店を深堀り、紹介していきます！

@MINIE_FUKUI

「クロワッサンソフト」（600円）
イエミー自慢のソフトクリームとバター香るクロワッサンが楽しめる。
クロワッサンが入っているので小腹がすいた時にもぴったり

人気の「ソフトクリーム」はコーン500円、カップ450円、ミニ350円の3タイプがそろう

店長の家さんが「お店のおいしいものが全部詰まった自信作」と話す「カップdeパフェ〜ティラミス風〜」（650円）。コーヒーゼリー、ソフトクリーム、バター香るクロワッサン、マスカルポーネチーズなどが何層にもなったぜいたくパフェ

「カフェ イエミー」はコーヒーや紅茶、ジュースなどのソフトドリンクや、ソフトクリームやそのアレンジメニュー、サンドイッチなどの軽食が楽しめるテイクアウトカフェ。特にコーヒーとソフトクリームは店長の家 瑞羽（いえみずは）さん（23）が開店にあたり「一番力をいれた」と話すお薦めメニューだ。元々はコーヒーがあまり得意じゃなかった家さんが、試飲を重ね「これならコーヒー好きな人はもちろん、今まで苦手と感じていた人でもおいしく飲めるはず」と即決したのが、福井市の珈琲豆専門店「和珈屋」（福2丁目）のスペシャルティコーヒー。特に「水出しアイス珈琲」（Rサイズ450円、Lサイズ500円）はスッキリとした味わいで「ゴクゴク飲める」と、店でも人気のメニュー。

もう一つのこだわり、県産牛乳を使った「ソフトクリーム」は、県内中のソフトクリーム店を食べ歩く中、何度も試行錯誤したオリジナルレシピ。濃厚でクリーミーながら後味さっぱりで、ミニサイズを頼んだ人の多くが「普通サイズにすればよかった！」と感想を残していくほど好評の一品だ。「イエミー」という店名は「自分のおうちのように、誰もが気軽に訪れ、楽しめる場所に」という思いが込められている。テイクアウトカフェだが、商品はすべてミニエの共有イートインスペース「シェアテーブル」で楽しむことができる。

プレゼント

cafe ieme（カフェ イエミー）
住 福井市中央1-3-5 MINIE1階 電車通り側
休 10月は休みなし（11月以降水曜日休み）
営 月〜金曜日 午前 8時〜午後8時
　土・日曜日 午前10時〜午後8時
※11月以降は営業時間変更の可能性あり。
　最新情報はインスタグラムで確認を

@CAFE_IEME

※価格はすべて税込み。内容、価格は変更になる場合があります

個人情報保護法 さんぽみちではお客さまに記入していただいた個人情報は、さんぽみちとお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。

おったか塾

参加者募集

干支（えと）「守り本尊」 〜写仏で心を調えましょう〜

日時 10月19日(土) 午前の部　午前10時〜正午
　　午後の部　午後1〜3時
場所 ハピリン2階の「福福小屋」
参加費 1,500円　対象 小学4年生以上
持ち物 筆ペン（黒系）・ボールペン（赤）
定員 1教室20人（先着順）
講師 川野千鶴さん（筆文字作家）

越前和紙に、ご自身の「守り本尊」名を筆ペンで書き、仏様のお姿を、なぞり描く写仏をします。初めての方でも、写仏を通して静かに自己を見つめる時間を楽しみ、喜びを体現できます。生まれ年の干支から「守り本尊」がわかります。申し込み時に、参加される方の干支を教えてください。
※仏画の色塗りは自由です

※仏画写真は「写仏なぞり描き」本 参照、大日如来（未、申）オリジナル作品です

主催：日刊県民福井・中日新聞社
共催：福井市観光物産館福福館
問い合わせ・申し込み先
日刊県民福井事業グループ＝☎0776-28-8618
（平日 午前10時〜午後6時）

元気いっぱいのスタッフの皆さん。お客さん目線の心配り、気配りが光る店だ

注目

10月12・13日
丸岡古城まつりで販売します♪
ファストフード感覚で食べられる
「ふくい春巻き」（いずれも200円）

城下町のパワースポット フレッシュフクイヤ 坂井市

坂井市の丸岡城のほど近くにあるスーパーマーケット「フレッシュフクイヤ」。奥行きのある店内には新鮮野菜や日用品などさまざまな商品が並び、奥に進むと弁当や総菜のコーナー。昔ながらの懐かしさを感じる店構えだ。元々は八百屋を営んでいたが、1972（昭和47）年に現在のスタイルになった。以来半世紀、店舗販売のほかに事業所や施設への調理食材の卸しや弁当の配達など、手広く事業を行っている。

とりわけ人気なのは、何と言ってもお弁当。値段が550円〜（少量や丼は280円〜）というお手頃感だけでなく、食欲をそそる配色と内容でこれでもかと詰め込まれたボリュームだ。野菜ソムリエの資格を持つスタッフの内田恵妃（めぐみ）さんは「目と口で味わって栄養を付けてほしい。女性スタッフが多く、味付けは自分たちの舌が納得したものを提供しています」と自信を見せる。子どもや若者から高齢者まで、それぞれの世代に寄せたバリエーション豊かな品ぞろえで「食べる人の顔を思い浮かべながら作る」という弁当は学生にも高齢者にも人気だ。店頭で販売するほか、数多くの企業や学校からも注文を受けている。個人でも近郊なら配達可能。弁当だけでなく、オードブルや会議用弁当もある。詳しくはホームページなどで確認を。

プレゼント

ホームページ　フェイスブック　インスタグラム

フレッシュフクイヤ
住 坂井市丸岡町谷町2-21
電 0776-66-0407
休 日曜日
営 午前8時30分〜午後8時

仕事も芸も道一筋 「ピン芸人・ニッキ玉」こと玉村秋子さん 越前市

ハーモニカを手に笑顔の玉村さん。玉村さん手編みのニット帽の上にはお手製の「ニッキ玉」が縫い付けてある。アメ玉の部分はふすま一枚分の和紙でできているという

越前市に一人、時には周りを巻き込んで寸劇や話芸、唄、コント、漫才をこなす「ピン芸人」がいるのをご存じだろうか。御年79歳、「ピン芸人・ニッキ玉」こと玉村秋子さんがその人だ。

玉村さんは越前和紙の伝統工芸士であり、普段は、県を代表する手すき和紙の製造・販売会社「岩野平三郎製紙所」（越前市大滝町）で紙すき職工（職人）として勤務している。

子どもの頃から手先が器用で、工作が大好きだった玉村さん。人前に立つようになったのは20代の頃、結婚を機につながりができた地域の集まりから。地区の婦人会や敬老会で出し物をするとなれば、演目、配役、衣装や小道具作りなど、周りを巻き込んで何でもやった。40代にはコンビを組み出場した旧今立町の祭り「いまだて祭」のお笑いコンテストで、20組の出場者の中から最優秀賞を受賞した。その後も越前市サマーフェスティバルのお笑い祭りでの受賞など、丹南エリアの笑いがあることころにはいつも玉村さんの姿があった。2023年にはピン芸人としてオーディションを勝ち抜き、吉本新喜劇のメンバーと同じ舞台に立ってアドリブで寸劇を披露。観客を笑いの渦に巻き込んだ。

不要になったものや、変わった形のものを見ると「小道具に使えそう」とそこからネタを思いつくことが多いそうだ。例えば、二股分配ケーブルの先におちょこを付けたものを聴診器に、CDを黒いヘアバンドに取り付けたものは医者が頭にかぶる「額帯鏡」に、といった具合。地区住民の世代交代は進んだが「秋ちゃん、何かやって」と言われれば、喜んで舞台に立つ。

「芸がうけるとうれしい、楽しいから続けられる。ステージに立つとなったら、ネタを考え、小道具を作り、芸の段取りを夢中で考える。それがストレス解消になる。緊張することもあるけど、ステージに上がったらスイッチが入って『芸人』になる。アドリブもすらすら出てくる」と、話からは根っからの芸人気質ぶりがうかがえる。「応援してくれる人、見てくれる人がいるから芸になる。これからも体が続く限りは舞台に立ちたい」と力強く話してくれた。

芸を披露する玉村さん（写真右）

今月の 読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

方応法募 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業 ③現在購読の新聞名 ④さんぽみちへのご意見・ご感想 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「地元のオススメ紅葉スポット」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき ［宛て先］〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち嶺北10月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

■LINE（ライン） ID：@059fzwww

■ホームページ 投稿フォームから

※応募の際は「さんぽみち嶺北プレゼント係」と入力して下さい

A cafe ieme（カフェ イエミー） 500円以下のドリンク1杯引換券 **3人**

B フレッシュ フクイヤ お買物券（500円分） **3人**

さんぽみち LINE限定プレゼント
「ハーモニーホールふくい」チケット引換券 4,000円と1,000円それぞれ **1人**
詳しくはカラー面をご覧ください。

締め切りは10月20日(日)必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

読者からのお便りコーナー

お題は「私、変わりました」

カフェや飲食店に1人で入ることがなかなかできませんでしたが、「つくし珈琲」は1人でも行きやすくて癒やされています。
（福井市 60代 女性）

最近、健康と節約のことを考えて、毎日弁当を作っています。手間はかかるけど、自分の好きな具材を詰められるので、意外に満足しています。
（福井市 50代 男性）

退職してから、人生の楽しみを始めました。
それは、卓球と絵画と家庭菜園です。孫を育てるサポートをしながらでも、やめずに続けることで体調も保たれています。疲れやすかった身体が、以前よりも疲れにくくなりました。
（福井市 70代 女性）

投稿募集
投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「地元のオススメ紅葉スポット」です。おさんぽこみちが**あなたの町におじゃまするかも。**
※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

簡単♥おいしいクッキング〜

長芋deフライドポテト

【材料】（作りやすい量）
長芋 … 1パック（約400g）
片栗粉 …… 大さじ3
顆粒コンソメ …… 大さじ1
あらびき黒コショウ … 適量
塩 …… 適量
揚げ油 …… 適量

【作り方】
①長芋はピーラーで皮をむき、約5cmの棒状に切る。ビニール袋やボウルに移し、片栗粉をまんべんなくまぶす。
②フライパンに揚げ油をやや多めに入れ、①を表面が茶色っぽく色づくまで揚げ焼きにする。
③長芋の油をよく切り、ボウルに移した後、顆粒コンソメ・あらびき黒コショウ・塩で味付けをする。器に盛り付けて出来上がり。

お知らせ伝言板

今年も開催！ ココカラ オーガニック マルシェ ココロとカラダがよろこぶ

入場無料

内容 食材や食品、雑貨の販売
日時 11月2日（土）午前11時〜午後5時
　　11月3日（日・祝）午前10時〜午後4時
場所 ゆりの里公園　ユリーム春江
　（坂井市春江町石塚21-2-3）

今、注目を集めているオーガニックを中心とした、ココロとカラダをいたわる商品を取扱った店舗が集結するイベントです。お子さんも楽しめる企画も準備しています。詳細はインスタグラムで確認を。

@COCORO_KARADA_ORGANIC

主催：坂井市こどものミライを考える会
cocokara.organic@gmail.com

橋本左内先生を詩吟で偲ぶ

日時 10月20日（日）午後1時から
場所 妙経寺本堂
　（福井市左内町8-36）
目的 一般の方たちに、左内の顕彰と日本の文化である詩吟を広く理解してもらう

福井が生んだ天才志士、橋本左内を偲び、約40人の吟士が、左内のご位牌の前で詩吟の披露をする。一般吟詠では左内以外の漢詩が、特別企画では緒方洪庵の適塾時代の左内の漢詩が披露される。左内は約400題余りの漢詩を作っていたとされる。特別企画は約20分、一般吟詠は約1時間20分の予定。

問い合わせ先
妙経寺＝☎0776-35-2675

観覧無料です。皆さま、おそろいでおこしください

スタッフ日記

今年の春、会社の人からメダカの卵を譲り受けました。ふ化から稚魚になり無事成魚に育っています。毎朝メダカたちに声をかけ餌をあげています。時間に余裕のある時はそっと中をのぞき込み、動きを観察。メダカたちの泳ぎに朝から癒やされています。朝の時間はあっという間に過ぎ、慌てて仕事に行く準備をします。皆さんに笑われるかもしれませんが「秋の天気の良い日に庭の紅葉を見ながらメダカと1日過ごして、メダカたちと撮影会をしたいな」と思っています。